



2.2

5歳未満の子供の発育障害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。

3.3

2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。

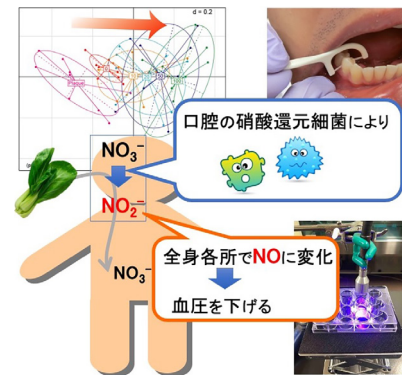
南部 隆之

歯学部

細菌学講座

口腔常在細菌と全身健康との関係を解析し 口腔ケアを健康寿命の延伸につなげる

口腔常在細菌と全身健康との関係の解明を目指して研究を行っています。口腔細菌叢のバランスを変えることで、全身の健康維持に寄与できる可能性があります。摂食した栄養を口腔細菌や腸内細菌が消化し、新たな栄養物を生み出すことが明らかとなりました。このメカニズムを解明することで、血圧コントロールなどに貢献することができます。高価な薬や治療に頼らずに、自分でも簡単にできる口腔ケアで疾患の予防や治療に取り組む、その効果的な方法を開発することを目指しています。



message

情報を正しく取得し、正しく理解し、正しく活用する能力をもつ学生を輩出する。偏った報道等に惑わされない人材を輩出する。大学の先端の研究を中高生に伝える機会を積極的にもつため、毎年高大連携講義を担当しています。今後も積極的に教育活動に携り SDGs 推進に貢献します。